

「タイ国総領事館を福岡に」の質問から5年、誘致が実現しました！

私は、2013年『9月県議会』一般質問において、「本県とタイ王国との関係は極めて良好であり、直行便も就航していることなどから、本県内への総領事館の設置については、次はタイ王国総領事館の誘致を進めるべき。」と小川知事に質問しました。

これに対し、知事は「タイ国の話があったが、今後とも直行便就航地域との交流を実態として進めていき、さまざまな機会を捉え、福岡県の魅力、強みというものを、相手地域に発信していきたい。」と、タイ王国総領事館の本県誘致に前向きな答弁をされました。

更には、福岡県議会「タイ友好議員連盟」によるバンコク都議会との友好・人脈を最大限に活かし、熱心かつ先駆的な活動の結果、本年1月16日のタイ政府の閣議で「福岡に総領事館を開設する」ことが決定されました。そして、2月8日、来福したソムキット副首相により、総領事館設置が正式に発表されました。

本年10月1日、「在福岡タイ王国総領事館」が福岡市博多区に開設され、アッタカーン・ウォンチャナマース総領事が着任されました。

タイ王国総領事館の本県設置により、本県とタイ王国との、経済、観光、文化・学術・芸術など、様々な面でこれまでより一層の交流が進むものと思います。

〔「在福岡タイ王国総領事館」所在地〕 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル 3階



在東京タイ王国大使館のお知らせ

第32 / 2561号

福岡総領事館の開設について

2018年9月24日

大切な人へ「メッセージカード」によるがん検診受診勧奨事業を進めます

2016年度の「全国がん受診率調査」によれば、本県と全国の受診率は、5大がんのうち、肺がん40.9%：46.2%、大腸がん36.4%：41.4%、胃がん38.2%：40.9%、乳がん40.9%：44.9%、子宮頸がん37.9%：42.3%となっており、本県は全国平均より受診率が低くなっています。

このようなことから、県内の公立中学校で「がん教育」を行い（講師は医療従事者、がん経験者）、生徒はがんの正しい知識や予防の大切さ、命の尊さ等を学びます。受講後、生徒たちは講演を受けた感想、親や家族、大切な人たちへの想いを「メッセージカード」として作成し、居住する市町村のがん検診の日程表と併せて渡します。受け取った家族等は、カードの返信欄に感想を記入し、生徒を通じ学校へ提出するとともに、各自治体や医療機関等でのがん検診の受診を進めます。今年度から、順次、各中学校で実施します。



福岡県がん受診向上キャラ
「検診くん」

県内小・中学校の正規教員比率の向上を図りました。

本県内の公立小・中学校の正規教員の充足率は、2017年4月現在で86.4%で、“全国ワースト2位”という不名誉な結果となっており、学級運営や授業にも支障が出る事はもちろんの事、生徒の学力向上の阻害要因にもなっていました。

この問題は、これまで我が会派が知事並びに教育長を質してきた課題であり、私も2015年『12月県議会』代表質問で「本県の公立小・中学校における正規教員の確保について」質問した経過があります。

そして、その後も会派による継続した要請により、2023年度までに96.4%（全国平均）まで改善することを県教委に明示させました。

本年4月時点での正規教員比率並びに今後の計画は右の通りです。

小・中学校	H29	H30	H31	H32	H33
教員総数(A)	13,751	13,884	14,007	14,131	14,255
正規教員(B)	11,875	12,277	12,593	12,945 (13,229)	13,285 (13,564)
うち新規採用	720	940	950	950	950
うち再任用	328	502	603	699 (535)	759 (602)
正規教員の割合(B)/(A)	86.4%	88.4%	89.9%	91.6% (93.6%)	93.2% (95.2%)